

コンベンションぬまづ及びキラメッセぬまづの指定管理業務評価結果について

平成 30 年 10 月 16 日
静岡県文化・観光部観光政策課
沼津市産業振興部観光戦略課

1 評価の趣旨

静岡県及び沼津市では、指定管理者制度を導入した静岡県会議場施設「コンベンションぬまづ」及び沼津市多目的展示イベント施設「キラメッセぬまづ」における指定管理者の管理運営状況について、学識経験者やコンベンション業界及びMICE誘致に関し識見を有する者等からなるプラサヴェルデ評価懇話会委員による第三者の視点から評価を実施した。

平成 29 年度事業の評価結果については以下のとおりであり、今後の指定管理業務の改善に活用していく。

2 指定管理

(1) 指定管理者

コングレ・コンベンション静岡グループ

代表団体 株式会社コングレ

構成団体 特定非営利活動法人コンベンション静岡

(2) 指定期間

平成 25 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで（6 年間）

3 評価項目

(1) 企画・提案に関する実績評価

- ① 「日本一使いやすい展示施設（キラメッセぬまづ）」の継承・発展
- ② 公の施設に求められる、平等利用、安全面に留意した運営
- ③ 県内外からの積極的な集客
- ④ 地域資源の積極的な活用
- ⑤ 地域の人材育成と活動支援

(2) 管理運営状況に係る実績評価

- ① 施設の管理運営指標の達成度
- ② 管理・運營業務
- ③ 維持管理業務

4 プラサヴェルデ評価懇話会委員

氏名	職業・団体等	備考
中山 勝	一般財団法人企業経営研究所常務理事	座長
森口 巳都留	株式会社MICEジャパン代表取締役社長	
鈴木 素子	鈴木素子税理士事務所 所長税理士	
植田 勝智	ファルマバレーセンター長	
委員計 4 名		

5 評価結果

(1) 項目別評価

評価項目		評価	講 評
(1) 企画・提案に関する実績評価	①「日本一使いやすい展示施設(キラメッセぬまづ)」の継承・発展	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者や来場者に配慮した柔軟なサービスについて、挨拶などのソフト部分についても十分に実施すること。 ・豊富な経験を活かしたコンベンションサポートサービスについて、ワンストップサービスの充実が図られ、コンベンションサポートサービスの利用が増加したことは評価できる。
	②公の施設に求められる、平等利用、安全面に留意した運営	4.1	<ul style="list-style-type: none"> ・適正かつ使いやすい料金設定について、割引制度の活用が少ないが、営業活動により利用促進に繋げていただきたい。 ・地元雇用やきめ細やかな研修制度による安定した組織づくりについて、地元人材の採用や多様な研修は評価できる。今後は、現場スタッフから施設運営、経営を担える人材育成に期待する。
	③県内外からの積極的な集客	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・来場者数 80 万人を目指し、地域の経済効果を高めることについて、県外利用者が微増にとどまっており、外へ向けた情報発信を工夫すること。 ・目標来場者数を意識することは大切だが、短期的な視野にならないよう留意すること。
	④地域資源の積極的な活用	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・地元還元型、地域密着型の自主事業は大いに評価できる。ただし、集客を掲げる場合は、地域外からの集客にも取り組まれない。 ・魅力的な自主事業の開催については、高齢者を対象とした自立支援、介護・介助関連のセミナーやイベントも企画されたい。 ・県特産品、観光 PR の推進について、女性目線のメニュー開発も取り組まれない。
	⑤地域の人材育成と活動支援	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・総合コンベンション施設の運営や活用を担う地元人材及び団体の育成について、市民ギャラリーの有効活用等により取組を進め、新たなプラサヴェルデの魅力発信に繋げていただきたい。

	評価項目	評価	講 評
(2) 管理運営状況に係る実績評価	①施設の管理運営指標の達成度	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来場者数及び日稼働率について、目標を達成できなかった理由を分析すること。 ・ 年間の催事件数の目標達成は評価できるが、大型催事の誘致に向けた取組が求められる。
	②管理・運營業務	4.1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 円滑な貸出作業のため、仮予約を早期に確認し、重複申込みを解消することで、より効率的な管理をお願いしたい。 ・ 利用者サービスの向上のため、インフォメーションの最適化やテクノロジーを活用するなど、利用者の満足度向上と共に施設の魅力づくりにも取組まれたい。
	③維持管理業務	4.3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保守点検を行うと共に、日常点検を徹底することで施設の長寿命化、また大規模修繕を未然に防ぐことができる。引き続き、確実に取り組んでいただきたい。 ・ 外部組織による省エネルギー診断を実施するなど、より一層の経費削減に努めていただきたい。

(2) 総括

項 目	評価	講 評
総括	3.9	平成 29 年度指定管理業務における実績は、「よく実施した」と判断する。

参考

評価点	評価基準
4.5～5.0	大変よく実施した
3.5～4.4	よく実施した
2.5～3.4	おおむね実施した
1.5～2.4	不十分な実施だった
1.0～1.4	実施しなかった